

立憲民主

The Constitutional Democratic Press

連絡先 立憲民主党大阪府第10区総支部
〒569-0071
大阪府高槻市城北町1-5-23 エクセレント城北
TEL 072-668-5655 FAX 072-676-7136

初当選から25年、国会＝永田町という男性優位社会に地元の皆さまに送っていただいて四半世紀がたちました。

一年生議員の時に成立にこぎつけたNPO法や被災者生活再建支援法は、コロナ禍や気候温暖化の現在、ますます多くの人たちのいのちと暮らしを守っています。国土交通副大臣として交通政策基本法成立に道筋をつくり、東日本大震災では首相補佐官として自衛隊やNGOと力を合わせて被災者支援や復興に取り組みました。

立憲民主党を立ち上げ、女性初の野党第一党・国対委員長をつとめ、激しい与野党交渉を重ね、野党の代表として「国会を担い」ながら、政治の私物化に徹底的にあらがう4年間でした。

「戦争をさせない」「貧困を失くし、だれもが自分らしく生きられる社会をつくる」――突き詰めれば、私が魂を削って求めてきたのはその二つです。

今、コロナ禍で政府だけではなく私自身も試されているという自覚を持ちながら、予算委員会・野党筆頭理事として、みなさまの「いのちと暮らしを守る予算」を議論しています。政府への提案を重ねながら、病院を支援し、経営困難なお店や事業者の実態調査をし、時には政府の施策の甘さを厳しく追及し、だれ一人取り残されない支援の実現に全身全霊で取り組んでいます。



史上初、女性の国対委員長 辻元清美

オンライン対談

コロナ終息に向けて!! これからどうする?

(東京都世田谷区長)

保坂 展人 さん

司会：のうえ 愛
(大阪府議会議員)

×

辻元 清美

8/28 土
19:00~20:00



清美チャンネル

検索

YouTube 配信

青空国政報告 随時開催中

コロナ禍で屋内での国政報告会の開催が難しいため、高槻市・島本町の皆さんがお住まいの地域に出向き、スーパーの前など屋外で国政報告会を行っています。

街宣車等で事前に開催場所をお知らせします。

詳しくは辻元事務所までお問合せください。

消費税5%に下げ 景気回復



一刻も早く国会を開き補正予算を！

私は商売人の娘です。洋服屋、美容院、うどん屋など経営が苦しくなるたびに仕事を変えて何とか親子4人で暮らしてきました。コロナ禍が飲食店などを直撃し、廃業に追い込まれる人たちがその子どもたちの苦しみ痛いほどわかります。

だから、政府には「自粛と補償はセット」と言い続けてきました。しかし、菅政権は本当に「ケチ政権」です。

一方、東京五輪には湯水のようにお金を使っています。五輪予算に一体いくら使い、その内訳はどうなっているのか明らかにさせなければなりません。

一刻も早く国会を開会し、補正予算を組み、困っている人々を助けるよう求めています。

看護師の負担軽減、ワクチンバス・タクシーを拡大

早くから、清掃業務等の負担が看護現場を疲弊させ、救急車や療

養ホテルの稼働率を低下させていると改善を要求しています。私の国会質問後、現場の負担が軽減され始めました。

ワクチンバス・タクシーも提案、政府や事業者等と協力し約700区市町村(全国の半数)へ急速拡大させました。高槻市ではワクチンバス、島本町ではワクチンバスと介護が必要な方々へのタクシークーポン(3,000円)配布が実現しています。

しんどい人への支援と減税は、コロナ後の日本を支える投資

コロナ禍でますます格差が広がっています。持続可能な社会を維持するために、儲かった人にももう少し税金を払ってもらい、しんどい人の支援に使う。そんな税による社会の連帯が必要です。アメリカのバイデン政権でも富裕層への増税を決めました。

そして、消費税減税が世界20か国以上に広がっています(ドイツで

は税率を半分、イギリスでは0%)。

消費を喚起して景気回復するために、私たちは「2年間、消費税5%に減税」を提案しています。

消費税が下がった分、手元に現金が残り、生活が少し楽になり、新しい消費を生み出し、お店や企業が助かり、売り上げが増えれば税収が増える。消費税減税を「良い景気循環」を生み出す起爆剤にするのです。

だれも取り残さないための経済的支援や減税はコロナ後の日本を支える人々への投資です。思い切った景気対策で、コロナ禍で落ち込んだ経済の再生のために力を尽くします。



予算委員会理事会後、ぶらさがり取材を受ける

・経済再生



法律162本をまとめ、議員立法70本を提出

「辻元は何でも反対、いつも怒っている」とよく言われます。テレビが切り取るのは約15秒、一番強い言葉の映像が使われてしまいます。

その印象やネット情報だけを信じた人たちからデマを流され、脅迫状や銃弾が届いたこともあります。

私は2年間、女性初の国対委員長として、連日、自民党との折衝の最前線に立ちました。202本の法律を審議し、162本=8割は賛成でまとめ成立させています。ギャンブル依存症対策など70本の議員立法も提出し

ました。しかし、賛成や提案はニュースにならないので、「いつも反対」のイメージになってしまうのです。

一方、歴代11人の総理大臣と激論をしてきました。与党・維新の議員や官僚は総理大臣におもねり、耳の痛いことは言いません。

政治の場で「おかしいことはおかしい」と発言することは、コロナ禍のような危機の時こそ特に大事です。

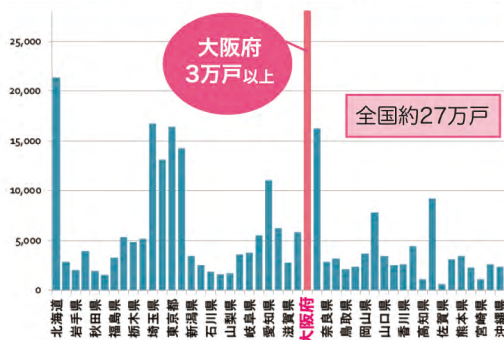
良いことは超党派でまとめる。

おかしいことには立ち向かう。

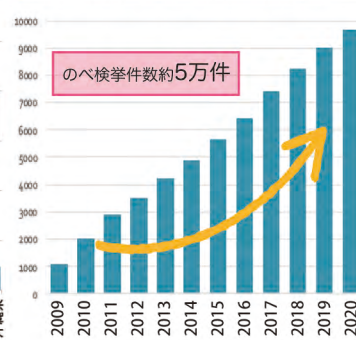
これが、私のモットーです。

.....初当選から25年、積み重ねた仕事

サービス付き高齢者向け住宅制度を新設



児童買春・ポルノ禁止法を作る



■残業代ゼロ法案に歯止めをかけ過労死を防ぐ ■児童虐待防止法改正で子どもを守る ■NPO法を成立させて子育てや介護、町づくりなど地域を支える ■最大級巡視船「あきつしま」建造で領海警備に貢献 ■関空・伊丹統合で黒字化の道筋をつけ、ビザ要件緩和で訪日外国客誘致の端緒を開いて大阪の経済成長を押し上げる (3年で4,000億円増) ■交通政策基本法でバスや地方鉄道、タクシーなどを守る ■JALを再生させ経済危機を回避 ■情報公開法や環境アセスメント法の制定に尽力 ■女性の政治参加促進法を超党派で成立させる 他

グラフ:国土交通省、警察庁資料より作成

菅政権の「病院削減法」から高槻の病院を守る

ご存じでしょうか? コロナ前に安倍政権が「公立・公的病院の再編(病床の削減と統廃合)」を決めました。菅政権はさらに進める法案を強行に成立させました。政府は公立・公的病院のうち、全国で1/4超の436病院(大阪では10)を統廃合のターゲットとして公表。なんとそこに、高槻赤十字病院と北摂総合病院が入っているのです!

公立・公的病院が赤字に陥る原因のひとつは、感染症対策など採算がとりづらい分野を担っているためです。名指された436病院のうち250がコロナ患者を受け入れ可能と表明するなど、地域・災害医療の拠点となっています。しかし再編が進めば、不採算部門は切り捨てられるリスクもあります。

自民や維新による行き過ぎた行政の「効率化」。特に大阪ではコロナ禍で保健所業務がパンクし、感染者が入院できずに命を落とす事態が続出しました。

しかし、西村経済担当相が「勝負の3週間」と呼びかけた昨年11月末、菅政権は「一病床削減につき最大228万円」を支給すると通達! しかも病床使用率が高い、言い換えれば地域に貢献している病院ほど補助金を高くして削減に誘導しています。

これが菅政権の「自助=自己責任」の実態です。

私は予算委員会・筆頭理事としてコロナ禍の予算を連日交渉し、医療や休業補償を充実させるようねばりました。

私たちが政権を担えば、税金で病院「削減」に資金援助するのでなく、地域医療「最優先」の政策に切り替えます。



写真:高槻赤十字病院Facebookページより

初当選で被災者生活再建支援法をつくりました

～熱海の土石流や3年前の大阪北部地震などにも法律が適用されています～

私が国会議員になったきっかけは、阪神淡路大震災です。「被災者に何の補償もなく、見捨てるような国を変えたい」という思いで立候補し、震災の翌年に初当選、一年生議員のときに「被災者生活再建支援法」をつくりました。被災した私有財産を税金で補填するという画期的な法律です。

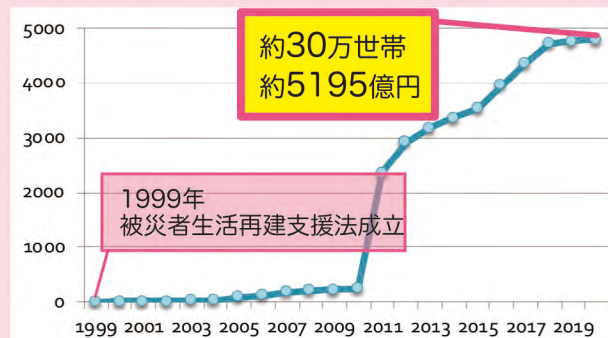
当初、大蔵省(現・財務省)は猛反発。それに対し、被災者の有志が国会前に座り込むなどして、被災者と超党派議員が一緒に立案・成立させたのです。

高槻が震源地となった大阪北部地震でも、この法律で支援がなされました。

私たち国会議員は「立法府」で仕事をしているのですが、改めて法律は時を超えて人々の「いのちと暮らしを守る」と実感しています。

また防災士の資格を取得し、「防災庁」創設に取り組んでいます。東日本大震災では災害ボランティア担当の首相補佐官として、100万人のボランティアの皆さんとともに現地に向かい、自衛隊やNGO・自治体間の連携を進め、被災者支援・仕事づくりに取り組みました。

同法により約30万世帯に支援金が配られました!



グラフ:内閣府資料より作成

淀川の洪水対策や 高槻北部の森林再生。 立憲民主党が いのちを守ります。



あい
のうえ愛
大阪府議会議員



おかい
岡井すみよ
高槻市議会議員



のぶゆき
もりもと信之
高槻市議会議員



とおよ
遠矢かえ子
高槻市議会議員



ひがしだ
東田まさき
島本町議会議員

大阪10区(高槻・島本)で、国会・府議会・市議会・町議会すべての議員がそろっているのは立憲民主党だけ。

人権問題、男女共同参画、環境問題などのNPO活動出身議員や防災士の議員など専門性を活かして活動をしています。

大阪北部地震や台風で高槻・島本に大きな被害が出たときは、ブルーシート設置などの手助けや、被災保育所の支援などに奔走しました。淀川の洪水対策や高槻北部の森林再生にも取り組んでいます。

これからもチームプレーで頑張ります!

ご意見や生活相談も受け付けています。

写真 ①高槻市ワクチン集団接種会場視察、野々上府議、岡井市議、森本市議、遠矢市議と(2021/6/26) ②地域福祉支援センター島本視察(2021/7/21) ③淀川堤防視察(2017/8/4) ④九州集中豪雨被災地にて〈福岡県朝倉市〉(2017/7/20) ⑤高槻市五百住小学校避難所にて(2018/6/20) ⑥高槻市古曽部ボランティアセンターにて(2018/7/10) ⑦淀川堤防視察、国交省河川事務所高槻出張所視察、岡井市議、森本市議、東田町議と(2021/7/13) ⑧高槻市榎田地区土砂災害現場にて(2020/7/10)

